学校番号	４０２

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書）						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。・・・・・・・・・。
・書写の簡単な復習から入り、楷行草篆隷から平仮名まで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことができるようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写
能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a;書への関心・意欲・態度	ｂ；書表現の構想と工夫	ｃ；創造的な書表現の技能	d;鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基図いて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広い知識をもち理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体「天」の 字を使った書体の変遷 さまざまな篆書を使って書と して表現された文字に興味 を持つ	○	○	○	○	a書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に 意欲的に取り組もうとしている b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
	漢字の書	・楷書の学習 ・漢字作品制作 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各古典の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表しいる。 d:楷書の代表的な古典のよさや美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品

	漢字の書	・五体書の学習 ・正式書体と略式書体 ・作品制作 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d：文字の成り立ちについて興味を持ち、代表的な五体書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート レポート 提出作品
	漢字の書	・硬筆の学習（楷書と行書）	○	○	○	○	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かしている。 d:日常生活の硬筆の書の効能について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品
後期	姓名印をつくる	・　自分の名前調べ（篆書） ・名前の一文字か二文字の印の制作	○	○	○	○	a:名前の篆書体を調べる。その書体について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c：印稿づくりにおいて硬筆などにも応用できる技法を身に付けている。 d：様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品

	仮名の書	・基本 ・料紙作品の制作	○	○	○	○	a:仮名の美（単体・連綿など）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:基本的な用筆方法を理解し自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿の技法を身に付け表している。 d:様々な仮名を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	
	漢字仮名交じりの書	・墨色の違いによる表現 ・漢字仮名交じりの書（漢字とひらがなによる表現）	○	○	○	○	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:平仮名の単純化された筆使いと漢字の技法との調和を考え表現している。 d：文字・余白・墨色・技法を踏まえ、漢字と仮名の調和を工夫し、そのよさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
	色紙作品制作	・作品の語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による指す品制作 後　色紙に清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会 ・作品に押印する。	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート 提出作品

	短冊・カレンダー制作	・仮名・漢字仮名交じり書で短冊作品を制作する ・カレンダーを制作する（一年間全体が見えるもの） ・作品に押印する。	○	○	○	○	a: 語句・文字の選定、作品の、構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：制作作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c：作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付けている。 d：互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。